

ミュージアム・インクルージョン・プロジェクト訪問記録

明石市立文化博物館	
カテゴリー： 博物館	
所 在 地： 明石市	
調 査 隊：神大学付属特別支援学校 PTA (訪問日：2023.11.12)	
障 害 種 別： 知的障害	
プロジェクト参加への動機： ・市議会議員から情報保障についての意見があり、館内を確認したところ映像に字幕がないことがわかった。映像に字幕を付けようと明石ろうあ協会にアドバイスを求めたところ、展示文章がそのままだと難解だと言われた	
PR したいところ： ・企画展や特別展 ・博物館を知ってもらう、来てもらうために誰でも知っているものでイベントを開催している	
特別な配慮を必要とする人(高齢者・障害者・外国人など)向けのプログラム・配布物がありますか？ ・中国語と英語のパンフレットがある ・中国語／英語／韓国語の明石観光ガイドを置いている(観光協会が作成) ・「びと」(ユニバーサルツーリズム発行)を置いている	
障害者への対応をしていることはありますか？ ・聴こえない方向けの表示物は以前から作成している。 (常時掲示ではなく、来館された時に出す)	
障害のある人が来館されて、困ったこと／どうしていいかわからなかったことはありますか？ ・知的障害の人に対してルール of 徹底が難しい(館内飲食は禁止だが、水筒を持ったまま入り、こぼしたことがあった。) ・どこにどのように広報してよいかわからず、障害のある人の来館が少ない ・特に申し出がなければ、障害のある方が来館されているかどうかわからない	

調査報告

よかった点(いいな、と感じた点)

- ・ベンチが多く設置されているのがありがたい
- ・会話をしながら展示物を見ることもでき、楽しむことができた
- ・トイレは全部洋式になっていたのもとても利用しやすかった

調査隊が「こうすればもっと楽しめる」と感じた点

- (館としての考えられる対応策→(A)すぐにやれそうなのでやってみよう
(B)色々な内容を精査して中期的に計画しよう
(C)長期的に検討課題としよう
(D)対応が難しい・できない

プログラム

- ・ワークショップなどがあればいい。
→(A)すでにワークショップは行っているの、今後は周知や工夫をしていく
- ・タブレットなどで収蔵品を見て、目的物を探しに行くかたちで館内探索ができたらいい
→(C)現在は紙ベースの探検クイズを配布している。スマホで見たりワークショップができるようにする可能性も検討(技術的な課題はあるが)

展示

- ・古い物と現代の私達との繋がりをもっと感じさせるような工夫があったら興味を持てる
- ・言葉や文章がわからなくても見ればわかるようなものがたくさんあると楽しめる
- ・知的障害者にわかりやすい文章で書かれたイラスト&フリガナ付きのパンフレット。
→(A)上記につきましては、展示室内にあった解説パネル(タコのイラストが付されたもの)をクイズ形式にして、明石に現在住んでいる人に興味を持てる内容に改訂作業中です。
- ・壊れそうな展示物については「触らないで」が伝わるような表示があれば安心できる。
また、文字よりもピクトグラムや絵カードのようなものがよいと思う
→(B)館内のルールそのものを見直しつつ、わかりやすく周知できるような方法を検討
- ・プロジェクションマッピング／音／匂い／触れるなど五感で楽しめる展示があったら誰でも楽しめると思う
→(B)今後、大規模な展示リニューアル等において検討してまいります。

施設

- ・バルコニーがとてもいいスペースだと思うが、バルコニーに出るための階段がバリアフリーだと安心だと感じた
→(B)構造的・財政的に検討が必要なので、様々な方面にアプローチしている
(クラウドファンディングなども視野にいれたほうがよいかも?)

受け入れ体制

- ・知的障害者にわかりやすい文章で書かれたイラスト付き館内ルール(飲食禁止・ポールペン使用禁止・撮影禁止場所など)を作成し、配布・掲示してあるといい
 - (B)館内のルールそのものを見直しつつ、わかりやすく周知できるよう方法を検討する
- ・知的障害者の特性や行動を一般利用者に理解してもらえるようなポスターの掲示
 - (B)館内の掲示物についてはなるべく減らす方向で考えているのでポスターを掲示するのは難しい。展示室入り口などの「お静かに」という案内について見直してみる

その他

★プロジェクトに参加して

調査隊の感想

- ・知的障害者が博物館のような公共施設を利用してもよいのか、迷惑に思われないか気になるので、この博物館がこのプロジェクトに参加されていることがとても嬉しく思う
- ・知的障害者は通常の限界の枠を超えた感覚や概念があるので、そこにフォーカスしてビジュアライズする見せ方があればより多くの人に楽しんでもらえると思う
- ・障害を持った人が一人で回るのは少し難しいと感じるので、フォローや説明があるといいと思った。

施設の感想(気づきや発見)

- ・昨年度は聴覚障害、今年度は知的障害の調査隊による訪問を受けたので、今後は車椅子ユーザー、肢体不自由、視覚障害の方へのアプローチを検討していきたい。
- ・ミュージアムグッズの開発などにおいて、福祉作業所などと連携した取り組みができればと検討している
- ・支援者が持っているノウハウを知ることができたのがありがたかった。
- ・単館の取り組みで終わってしまうのがもったいないと感じている。県内の他の博物館と取り組みの情報交換ができればよいと思う